

白浜ってどんなところ？

1 地理的環境・交通アクセス

白浜は、西表島の西部に位置し、学校の北側には小高い山、南側にはリアス式海岸による内湾(仲良湾)、内離島、外離島に囲まれ、山と海の織りなす自然豊かな地域です。

石垣島から船で上原港まで約45~50分、上原港から白浜までは、約13km(車で20分)の位置にあります。冬場(10月~3月頃)は、北風が強くなると、上原航路は欠航になることがあり、大原経由で移動します。欠航の際には、送迎バスの利用が可能です。

2 地域の様子

白浜地域は、人口約130人、世帯数は約60世帯と、とてもこぢんまりとした集落です。集

落の形成は西表炭鉱と関係がありますが、その後水産業・農業を生業としてきました。近年は観光客の増加に伴い、マリレジャーや旅館業などへの変化も見られます。訪れる観光客はリピーターが多く、静かで落ち着いた雰囲気の中、のんびりと過ごすことを楽しんでいるようです。

地域の最大の行事として、旧暦の5月4日(ユッカヌヒー)に行われる「海神祭」があり、地域住民だけでなく、他の地区や石垣、県外からも多くの人を訪れ、ハーリー競争などで大きな盛り上がりを見せます。

白浜周辺の公共施設としては、祖納地区に西表島に二カ所しかない郵便局の一つと、八重山病院附属の西部診療所もあり、車で5分ほどの距離です。また、西表保育所があり、2歳児からの保育を行っており、現在およそ14名の園児が通っています。

3 学校の様子

本校は昭和12年に開校し、令和8年度で創立89周年を迎えました。児童数14名で、低・

中・高の完全複式の3学級と支援学級(1学級)があり、職員は4名の担任に加え、教務主任・養護教諭・事務等を含めて現在10名です。複式の授業の難しさはありますが、お互いに授業を交換して持ったり、複数学年の複数教科を指導したりすることで、複式解消も進められています。子ども達は、地域の大人達に見守られ大切にされていることで、とても素直で頑張り屋です。年間を通した学校の取り組みの中にも、竹富町が進めている海洋教育の一環としての「海の体験」やPTA行事として行う「山の体験」など、地域の特性をいかした行事も多くあります。

極小規模校として、いろいろと不便なこともありますが、その不便さから学べることやここでしか体験できない多くの事があり、子どもだけでなく私たち教員にとっても、とても魅力的な学校です。

